

子供を主役に、みんなで支え合うPTA活動

～世田谷区立用賀小学校PTA～



平成29年に創立60周年を迎えた世田谷区立用賀小学校は、東急田園都市線用賀駅から徒歩約15分の住宅街の中にあります。今回は、学校と家庭・地域との連携が活発に行われている様子と、その中で大切な役割を果たしているPTAの活動について紹介します。

世田谷区立用賀小学校

- 開校 昭和31年9月
京西小学校分校として開校
昭和33年4月
用賀小学校として独立、開校
- 児童数 764名
- 校長 尾上 佐智子
- PTA会長 酒井 信夫

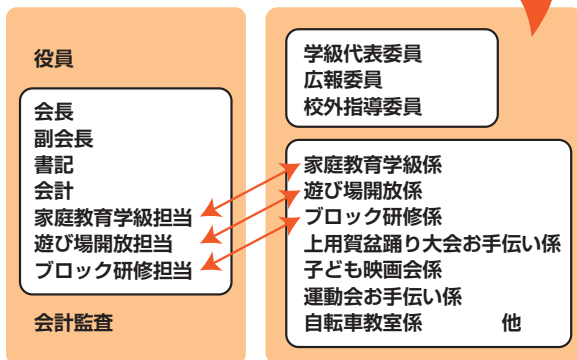


○多くの学校行事・地域連携行事

用賀小学校は、設立時に地域の方から土地の提供や教室の寄付を受けたこともあり、地域が支える学校として様々な取組が行われています。

- ・**上用賀納涼盆踊り** 神社が無い地域でも、子供たちの記憶に残るようなお祭りを開催したいという地域の方々が始めた夏祭り。平成3年に用賀小の校庭を会場として開催され、現在は「上用賀やぐらの会」と学校、PTAが協働した行事になっています。
- ・**もちつき大会** 臼と杵を8セット用意し、参加した児童全員が必ず体験します。もちをつく機会が少ない子供たちがもちつきの体験ができるよう、地域と学校が力を合わせて行っている60年以上続く行事です。
- ・**自転車安全教室** 住宅街で小さな交差点が多いため、3年生全員が乗り方を学ぶ授業を10年以上前から警察の協力を得て実施。ヘルメット着用を徹底して指導します。
- ・**スマイルスクール** 夏季休業中に、スポーツや創作活動など多様な講座を開設
- ・**ふれあい広場** 毎月第3土曜日に、校庭・体育館でスポーツ、ランチルームで折り紙や将棋、図書館の地域開放等を実施。指導者の多くが、地域の方や保護者です。

この枠の委員等を保護者会で募集



○PTAに、「お手伝い係」を設置

PTAでは、会長をはじめとした役員が学校行事や地域連携行事に企画段階から参加してきましたが、共働き家庭の増加もあり、行事当日の会場設営や受付等のサポートを呼びかけることが難しくなっていました。役員会と学校で検討を重ね、平成25年から、「お手伝い係」を設置しました。

新年度最初の保護者会前に、委員会(学級代表委員会等)を含めた23の活動を紹介した一覧を配布します。新1年生の保護者会では、役員から各活動の目的と内容、2学年同一クラス持ち上げりのため、2年間に1回は活動に参加してほしいこと等を丁寧に説明します。

例えば、「家庭教育学級係」「子ども映画会係」は1、2年生の保護者、自転車教室係は3年生の保護者、近隣の中学校を会場として開催する総合型地域スポーツ・文化クラブのイベントは5、6年生の保護者等、呼び掛ける学年を指定し、保護者同士の関係づくりや、学校の教育活動の理解、地域理解が進むように工夫されています。担当となった行事に子供たちが楽しく参加する姿を見て、来年度は違う係や委員になる、という保護者も多いそうです。

○様々な方々に支えられて育つ子供たち

用賀小学校は、「子どもが主役の学校」を学校運営の柱として、保護者や地域住民にも、学校の運営方針を繰り返し伝えていきます。「上用賀納涼盆踊り」には、大人と子供を合わせて約4,000人、「もちつき大会」には、地域の方を含めて200名以上の大人が協力して参加しますが、子供が卒業しても、地域住民の一人として参加し支え続けている保護者もいます。

ヘルメットを被らずに自転車に乗っている児童には、地域の方から「ヘルメットはどうしたの。」と声が掛かります。学校の教育活動を保護者や地域住民が理解する、その接点を大切にしながら、PTA活動が行われています。



もちつき大会



自転車安全教室

取材協力：一般社団法人東京都小学校PTA協議会

一般社団法人東京都小学校PTA協議会は、都内公立小学校PTA活動の一助となるよう、様々な事業を行っています。共働き家庭も増え、PTA活動に時間を割くことも難しくなっていますが、各PTAではどんな工夫をしているのでしょうか。そんな情報の発信・共有ができればと考えています。ホームページやFacebookもありますので是非ご覧ください。